

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	3	のびやか・雄武	整理番号	43
基本施策	12	学校教育の充実	評価 責任者	教育振興課長 横田 和幸
単位施策	3	開かれた学校づくりの推進		

1 施策の概要

基本方針	学校・家庭・地域が連携し、特色ある学校づくりや地域に開かれた学校を推進するため、小中学校施設の地域開放の拡大や、PTA活動の活性化、学校評議員制度の活用などに取り組む。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	雄武小学校及び中学校には学校評議員が置かれ、定期的に学校における現況報告等がされている他、周辺校においても校区内のPTAにおいて地域参画が行われている。	雄武小学校及び中学校には学校評議員が置かれ、定期的に学校における現況報告等がされているほか、周辺校においても校区内のPTAにおいて地域参画が行われているとともに、読み聞かせやスキー授業の支援など、地域住民等による学校支援活動が行われている。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	町民の小中学校への参画にあたり、地域全体に対する情報提供により学校活動への関心等が高められることから、地域全体的な周知の取組みを図っていく必要がある。	町民の小中学校への参画にあたり、地域全体に対する情報提供により学校活動への関心等が高められることから、地域全体的な周知の取組みを図っていく必要がある。

2 基本施策指標

指標1	指標名	学校評議員等配置校数						
	定義等	学校評議員等が配置（類似形態を含む）されている学校数						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値	全校	全校	全校	全校	全校		全校
	実績値	2校	全校	全校	全校	全校		
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	学校支援活動推進事業	生涯教育係	220	A	継続/現状維持	A
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	開かれた学校づくりの推進については、関係法令の要請があるとともに、学校に対する地域住民の参画推進を図るうえで重要な施策である。
② 有効性	A	学校評議員の配置、地域の活発なPTA活動及び学校支援活動推進事業等により、有効に施策の推進を図った。
③ 効率性	A	開かれた学校づくりの推進のため、地域住民によるボランティアでの活動が実施されており、効率的な施策の推進を図った。
④ 公平性	A	本施策の効果は、小中学校施設の学校開放等の地域住民に及ぶことから、公平性は確保されている。
⑤ 町民意見の反映	A	開かれた学校づくりの推進については、学校評議員の配置及び地域の活発なPTA活動等により、町民意見の反映を行っている。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
開かれた学校づくりの推進を図るため、関係事業等の効果的な実施及び必要な支援を進めてきたところであり、引き続き現行施策の推進を図ることが必要である。	同左	

今後の方向性

継続/現状維持	継続/現状維持	
学校、家庭、地域が連携し、特色ある学校づくりや地域に開かれた学校を推進していくため、現行施策を引き続き継続し、全学校の状況について、本町全体に情報周知する等の対応も進めていくものとする。	同左	

*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止